

保健体育科教育法Ⅲ

科目ナンバリング ESS-315
教職 選択 2単位

永島 昇太郎

1. 授業の概要(ねらい)

中学・高校の保健体育科教員に必要な実践的な知識や求められる資質・能力について理解を深め、基礎的な実践力の身につける。特に、①体育科教育(体育実技)の変遷や学習指導要領の解釈、②(体育指導に深く関わる)「総則の体育・健康」、「特別活動の健康・体育的行事」や運動部活動について理解する。また、体育実技における指導のあり方や指導計画等について、基礎的な理論と実践力を身に付ける。

2. 授業の到達目標

(1) 中学・高校の体育実技(中学体育分野の運動領域、高校科目体育の運動領域)の教科としての変遷や目標・内容の構成と系統性を理解し、記述できる。

(2) 特別活動の「健康・体育的行事」、総則の「体育・健康に関する事項」、運動部活動の意義や運営・指導のあり方について、体育科教育と関連させて説明できる。

(3) 体育実技における、指導のあり方や指導と評価の一体化について理解し、単元計画・単位時間計画(学習指導案)作成の理論とその実際を通して、実践的な指導計画を立案・評価・改善できる。

3. 成績評価の方法および基準

①授業内課題(25%) ②授業外課題(25%) ③小テスト(25%) ④試験(25%)で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

①『専門教養Build Upシリーズ④ 中高保健体育の完全攻略』(時事通信出版局)

(文部科学省) ②『中学校学習指導要領解説保健体育編』(東山書房)

(文部科学省) ③『高等学校学習指導要領解説保健体育編・体育編』(東山書房)

参考文献

①『最新高等学校保健体育』(大修館書店)

②『中学校保健体育』(学習研究社)

③『アクティブスポーツ』(大修館書店)

④『中学校体育実技』(学習研究社)

5. 準備学修の内容

- ・事前にWeb File Serverで、講義資料を配布するので、毎時間の学習の確認をし準備をする。
- ・毎時間後の課題をWeb File Serverで配布するので、次回までの振り返りをする。
- ・文部科学省や都道府県教育委員会、体育・スポーツ情報に関心を持ち、積極的に入手する。

6. その他履修上の注意事項

- ・学生としての基本的な受講態度を身に付けて臨むこと。
- ・良き教育者となることを目指し、積極的に学習すること。
- ・秋期同一時間帯開講「保健体育科教育法Ⅳ」を継続して受講することが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション((レディネス調査、シラバスの説明、評価方法、受講上の留意点等)
体育科教育(目標・内容等)の変遷と位置づけ(意義と重要性)
- 【第2回】 (現行)学習指導要領にみる体育科教育(体育実技)の目標と内容(目標・内容の系統性・校種間の接続、4・4・4カリキュラム、運動の選択制等)
- 【第3回】 学習指導要領改訂(改定)の要点とこれからの体育実技の授業(保健との関連性を含む)
- 【第4回】 学校体育活動(体育実技、体育的行事、運動部活動)の意義と安全管理・指導
- 【第5回】 体育実技の指導計画の工夫(学習形態・過程の工夫、学習資料・ノートの活用、評価の目的と観点別評価))
- 【第6回】 中学・高校の「体育実技」の目標と内容の理解(体づくり運動、器械運動)
- 【第7回】 中学・高校の「体育実技」の目標と内容の理解(陸上競技、水泳)
- 【第8回】 中学・高校の「体育実技」の目標と内容の理解(球技)
- 【第9回】 中学・高校の「体育実技」の目標と内容の理解(武道、ダンス)
- 【第10回】 「体育実技」の年間指導計画及び単元計画の内容と作成の考え方(総則、健康・体育的行事等との関連性)
- 【第11回】 「体育実技」の単位時間計画の内容と作成の実際①(体づくり運動)
- 【第12回】 「体育実技」の単位時間計画の内容と作成の実際②(陸上競技、水泳)
- 【第13回】 「体育実技」の単位時間計画の内容と作成の実際③(球技)
- 【第14回】 「体育実技」の単位時間計画の内容と作成の実際④(武道、ダンス)
- 【第15回】 まとめ(保健体育教師に求められる資質・能力)と試験